

巻頭言

刊行にあたって

岡本 菜穂子

ロシアによるウクライナ侵攻開始から1年が既に経過し、ハマスのイスラエル侵入、攻撃に対し、報復としてイスラエルの攻撃、2024年1月元旦に能登半島沖地震の発生と、次々と世界で起こる人道的緊急事態は、社会と多くの人々へ衝撃と恐怖を与えたことは事実である。2023年度、グローバル・コンサーン研究所では、今の世界、そして日本における、人種やジェンダーなどによる差別や排除、社会的、経済的、政治的なシステムに組みこまれた不平等に注目し、社会正義を議論してきた。その議論で通底する主題は、平和学研究者であるヨハン・ガルトゥングが名付けた「構造的暴力」である（ガルトゥング平和学の基礎,ヨハン・ガルトゥング著;藤田明史編訳）。上述の議論を通して、「構造的暴力」に悩み苦しむ人々に耳を傾け、私たちには見えていない視点を理解し、考えてみようとしたのである。

2023年度のグローバル・コンサーン研究所の活動を概観すると、グローバル化した社会における暴力、差別に関するテーマを取り扱った企画、人道的緊急事態に対する学生たちとの協働活動、在日外国人と入管問題に関するブックフェアなど、正義とは何かと私たちに問いかけ直す内容であった。注目したい点は、いくつかの企画に取り上げられた社会における暴力である。戦争や紛争といった直接的な暴力に焦点を当てているだけでなく、社会的に根強く浸透し、空気のように存在しながら猛威を振るい、不平等を生み出している暴力にも焦点を当てている。避難民や被災者、被害者たちは、人間の尊厳と連帯の実現が脅かされる中で、まさに今、そこで生きている。彼らのために、何か自分にできることがないかを自問させられる日々を送る中で、彼らの置かれている状況を想像するだけでなく、少しでも理解をしようとする意識化の場を提供し、私たちがアクションを起こす勇気と希望を見出す機会を提供した活動であった。

第6号では論文1編、資料1編、活動報告5編、を掲載している。まず掲載論文、池内では、在日フィリピン人介護労働者と「介護ロボット」に焦点を当て、現代の介護における課題に着目した研究である。「実践としてのケア」ではなく「資源としてのケア」が現行システムの対象となる過程に迫り、資本主義社会におけるケアのあり方について深く考察している。介護の未来に向けて、新たな視点を提示した論考である。

資料、丸山では、小国でありながらもその教育システムが世界から注目されるほど革新的なエストニアの教育調査に関する報告である。人口減少やグローバル化という課題に直面しながらも、教育政策をどのように展開しようとするのかのプロセスが詳細に記されている。世界の教育改革に関する議論において、エストニアは重要な事例であることを示している。

続いて、活動報告であるが、今年度の本研究所が主催、協賛したイベントに関する報告を本号に所収した。まずドキュメンタリー映画『権力を恐れず真実を—米国下院議員 バーバラ・リーの闘い』について、およびドキュメンタリー映画『主戦場』とミキ・デザキ監督によるトークセッションの2報告。そして、2023年10月以降のパレスチナ・ガザ地区における紛争の激化を受けて、シネマ哲学カフェ緊急特別企画「パレスチナ占領を知る、そして考える」が開催され、その報告も寄稿されている。また災害時の暴力問題を中心に議論されたセミナー「PSEAH:

Protection from Sexual Exploitation, Abuse and Harassment」についての記録も本号に収録された。

報告「ソフィア哲学カフェ・シネマ哲学カフェ」は、両哲学カフェ活動によって、単なる知識の獲得だけでなく、対話を通して日常生活における価値観や意識の醸成が多様な立場や意見が尊重される中で展開され、「構造的暴力」に対して、より深い理解を獲得する場となったことを示すものとなっている。

今号は岡本菜穂子が編集責任者です。専門は公衆衛生看護学で、世界のホームレスや若年貧困層の調査研究などを通して社会的弱者支援に取り組んでいます。グローバル・コンサーン研究所に関わりたと思ったのは、世界の社会正義にかかわる問題に取り組んでいるからです。本号は、専門分野とはことなるものの、私にとっても示唆に富む、興味深い論考が掲載できたと考えております。ただ、このような編集作業は初めてであるため、至らぬ点が多々あることと存じます。御海容ください。

激動する世界の中で、人々の関心や注意は瞬く間に変化していきます。グローバル・コンサーン研究所では、社会正義促進のために、大学内の学生、社会の人々と手を取り合い、共に活動が続けていく研究所として、これからもその役割を担っていく所存です。引き続き、グローバル・コンサーン研究所へのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

岡本 菜穂子 (おかもと なほこ)

(『グローバル・コンサーン』編集長、上智大学総合人間科学部)